

第40回内田地区文化祭

第19回内田地区福祉ひろばまつり



平成 29 年 11 月 1 日現在

世帯数	962 戸
人口	2,371 人
男	1,190 人
女	1,181 人

11月4日(土)、5日(日)に、第40回内田地区文化祭・第19回内田地区福祉ひろばまつりが開催されました。プレイイベントの子ども文化祭では、古き良き手作りのボードゲームや、福祉ひろばの道具で遊び楽しみました。文化祭・ひろばまつりでは、サークルや団体の皆さんに日ごろの練習の成果をステージ発表の場で披露していただきました。招待演奏ではエバグリーンさんによるジャズサウンドに聞き惚れ、また明善中学校3年1組の方たちによる合唱や、地区の皆さんで踊るササラ踊りで大いに盛り上がりました。

公民館を会場とした作品展示はいずれも力作ぞろい、旧公民館の会食コーナーでは豚汁とおにぎりが振る舞われ、駐車場を利用した内田営業さんのフリーマーケットではお買い得品がいっぱいと、盛り沢山の内容でした。くじ引きの結果は、皆さんいかがでしたでしょうか。

二年ぶりということもあり、内田地区三大行事の締めくくりの文化祭は、多くの人で賑わった、笑顔の絶えない二日間でした。



たくさんの展示品



内田地区大運動会

今年も天候に恵まれ、恒例の第51回内田地区大運動会が、9月10日に行われました。

それぞれの町会の皆さんのチームワークが発揮され、熱い試合が繰り広げられました。

勝っても負けても笑顔の溢れる、素敵な運動会でした。

成績は左記のとおりです。

優勝	第5町会
準優勝	第6町会
第三位	第4町会



優勝おめでとうございませう



マラソン



早くつき始め



大玉おくり



ボールひろい



女子ボールけりりれー



男子りれー



馬場家住宅

開館20周年

平成29年9月16日、馬場家住宅開館20周年を記念した特別展「馬場家住宅20年の歩み」の開催が始まりました。開催初日には、開会セレモニーが内田地区町会連合会古幡進一会長をはじめ、松本市議会上條美智子教育民生委員会委員長他、多くの来賓をお迎えして盛大に行われました。当日は雨の予報もありましたが、開会式は無事行われ、続いて地元内田ササラ踊り保存会の皆さまによるササラ踊りの披露もあり、地区を挙げて20周年を祝うことができました。

さて、この20周年記念特別展は、馬場家住宅主屋を会場として、各部屋を5つのコーナーとして開催しました。16代当主馬場太郎氏のご協力により馬場家文書の特別公開を行っている「馬場家のたから」、内田地区の魅力在内田児童館の子どもたちの作品で紹介している「内田地区のたから」、開館以来の維持・管理の様子を紹介している「馬場家住宅の20年」、郷土写真家宮嶋洋一氏の写真で馬場家住宅の美しさを紹介している「馬場家住宅の四季」、そして馬場家



住宅で行われている事業や子どもたちの活動を紹介している「馬場家住宅の営み」の5コーナーです。会期中にはこの他に、西澤泰彦名古屋大学大学院教授による記念講演会や、前出の宮嶋氏によるギャラリートーク、また地域の市民団体である牛伏・鉢伏友の会及び寿さと山くらぶによる昔の遊び体験講座といったイベントもあり、子どもたちをはじめ多くの方々にご参加いただき、いずれも好評でした。馬場家住宅は、おかげさまで今年開館20周年を迎えることができました。これも、地域の皆様のおかげと感謝しております。この展示では、これまでの20年を振り返るだけではなく、これから20年、もつと先まで、地域のたからとしての馬場家住宅を、皆様と一緒に残していきたいという思いが込められています。ぜひ馬場家住宅に、気軽に立ち寄りください。

馬場家住宅 学芸員

澤柳 秀利



つれづれ編集記

飯山市にある「高橋まゆみ人形館」に行ってきました。高橋まゆみさんは創作人形の作家として各賞を受賞、全国95ヶ所180万人を動員、各地で好評を博した方です。ギャラリーでは春のコレクション展が開催されており、作者が作り上げた実に存在感のある人形の数々は、表情や仕草、いつか何処かで見た懐かしい情景や人形たちの息遣いが聴こえてくるようで、ほっこりとする心温かな気持ちにさせてくれます。そんな有意義な時間を満喫することができました。

先日、ラジオ番組でも、人形館で行われる「高橋まゆみトークショー」の紹介をしており、その中で高橋さんは次のようにおっしゃっていました。

『失くしたくない、忘れたくない気持ちで創っています。家族に会いに来るような感じで来ていただきたい。』とのことでした。

今度は、秋のコレクション展を鑑賞したいと思っています。

第4町会 神谷 順子